九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

平成5年度演習林年報

https://doi.org/10.15017/18587

出版情報:年報(九州大学農学部演習林年報). 1993, 1994-12-20. 九州大学農学部附属演習林

バージョン: 権利関係:

VI. 研究教育業務関係

A. 研究項目一覧

直物の分類と群落の生態に関する研究 詳落の保全技術に関する研究 モミ・ツガの天然更新に関する研究 森林の生態的構造と成立環境に関する研究 大葉樹林の更新機構に関する研究 大環境研究部門 森林の環境保全に関する研究 最地環境の活用と保全に関する研究 森林レクリェーションに関する計画設計論的研究 自然的樹木群の造成に関する研究 森林総合利用に関する研究 森林保全に関する研究 森林保全に関する研究 森林保全に関する研究 森林水文および水文地形に関する研究	研究	君名
森林生物研究部門		
植物の分類と群落の生態に関する研究	井 上	트 괴
群落の保全技術に関する研究		<i>11</i>
モミ・ツガの天然更新に関する研究	荒 上	和乖
森林の生態的構造と成立環境に関する研究	岡野	哲 良
広葉樹林の更新機構に関する研究		<i>]]</i>
森林環境研究部門		
森林の環境保全に関する研究	汰 木	達良
緑地環境の活用と保全に関する研究		達良
		孝う
森林レクリェーションに関する計画設計論的研究	薛	孝ラ
自然的樹木群の造成に関する研究		<i>!!</i>
森林総合利用に関する研究	村瀬	房之即
森林保全に関する研究		<i>]]</i>
森林水文および水文地形に関する研究	井倉	洋 二
森林生産研究部門		
森林施業に関する研究	柿原	道
地域林業計画論	堺	正糸
木材流通に関する研究		<i>]]</i>
森林管理および計画に関する研究	寺 岡	行 左
森林利用研究部門		
きのこ栽培に関する資源学的研究	大賀	祥 洧
森林菌類に関する研究		<i>!</i> /
木材材質に関する研究	古賀	信も

B. 担当科目一覧

(平成5年度)

授 業 科	目	担	当		補	助
(学 部)					·	
農林実験計画法	(前期)	柿原	道喜			
森林航測	(前期)	柿原	道喜			
森林環境学	(後期)	汰木	達郎			
林学通論	(後期)	汰木	達郎			
山村経済論	(前期)	吉良名	 			
樹木学	(後期)	井上	晋			
生態系の構造と機能	(前期)	井上	晋			
造園学第一	(前期)	薛	孝夫			
木材流通論	(前期)	堺	正紘			
林学特別実習第一	(前期)	長	正道	古賀	信也	
林産学科林学実習	(前期)	荒上	和利	伊藤	哲	
(大学院)						
森林生産組織学特論	(前期)	柿原	道喜			
森林環境学特論	(前期)	汰木	達郎	井上	亚	
森林環境学特論演習	(通年)	汰木	達郎	井上	亚目	村瀬房之助
				荒上	和利	岡野 哲郎
				薛	孝夫	井倉 洋二
						伊藤 哲
緑地環境設計特論	(前期)	薛	孝夫			
森林生産管理学特論	(後期)	堺	正紘			
森林生産学特論演習	(通年)	堺	正紘	吉良名	今朝芳	大賀 祥治
						古賀 信也

C. 指 導 論 文

(平成5年度)

学生氏名 (所属講座)		論 文 題 目	利 用 演習林名	担当
寺岡行雄 (林学第一)	博士	森林経営のモニタリング方法に関 する研究	福岡演習林	柿原道喜
岩野美穂 (林学第四)	修士	鰹節ばい乾用広葉樹薪材の生産・ 利用	福岡演習林	堺 正紘
末松剛介 (林学第二)	学士	森林地域における流域からの流送 物と流出との関係について	福岡演習林	井倉洋二
藤本高明 (木材理学)	学士	立木密度を調整したカラマツの 1 年目の木部形成	北海道演習林	古賀信也

D. 文部省科学研究費補助金および研究助成金の交付概況

(平成5年度)

(M 0 / M)									
研究種目	研究課題	代表•	分担別	研到	完機	目・耳	哉・氏行	名 ————	
試験研究 (A)	森林地域における酸性雨等地球	代	表	北大農	教	授		晃一郎	
	環境モニタリング体制の確立	<u>分</u>	担	九大農	助	手	井倉	洋二	
総合研究 (A)	希少森林植物の生存環境の解明	代	表	九大農	教	授エ	齋藤	明	
	およびジーンダイバシティの評価と保全法の確立	分	担	九大農	助	手	伊藤	哲	
試験研究 (B)	広域森林環境情報整備とネット	代	表	東大農	教	授	南雲秀	秀次郎	
	ワーク型森林管理システムの研 究	分	担	九大農	助	手	伊藤	哲	
一般研究 (C)	都市林の生態とその合理的な管	代	表	九大農	助教	女授	薛	孝夫	
	理システムの開発に関する基礎 的研究	分	担	九大農	教	授	汰木	達郎	
一般研究 (C)	プレカット事業の展開に伴う木 材流通の変貌と林業産地システ ム化に関する研究	代	表	九大農	助孝	女授	堺	正紘	
一般研究 (C)	DNA分子マーカーによる森林	代	表	九大農	助孝	女授	白石	進	
	の繁殖構造研究法の確立	分	担	九大農	助	手	伊藤	哲	
国際学術研究	ブラジルの森林開発と現地住民	代	表	鹿大農	教	授	今永	正明	
(共同研究)	の意識	分	担	九大農	助教	女授	長	正道	
日本生命財団	鰹節焙乾用薪の生産構造と里山	代	表	九大農	助教	女授	堺	正紘	
研究助成金	広葉樹林の最適管理システムの	分	担	九大農	助	手	岡野	哲郎	
	構築	分	担	九大農	助	手	伊藤	哲	
阪南サニーフ ーズ株式会社	きのこ栽培に関する研究	代	表	九大農	助	手	大賀	祥治	
森下機械 株式会社	きのこ栽培に関する研究	代	表	九大農	助	手	大賀	祥治	

E. 演習林利用状況

1. 固定試験地の新規設定

平成5年度に新設された固定試験地は、北海道演習林3、宮崎演習林3の計6試験地であった。 各試験地の名称、規模、設定期間、目的・概要は以下の通りである。

(1) 北海道演習林

ウダイカンバ育成技術に関する試験地

0.8ha (13林班15ろ小班).

1993年8月設定,2003年終了予定。

設定者:古賀信也(九大演習林),担当者:北海道演習林.

目的・概要:有用広葉樹であるウダイカンバの育成技術に関する基礎研究として、間伐率、間 伐頻度に対する基礎的知見を得ることを目的としている。80×50mのプロット2個を設定し、 一方のプロットに対し、間伐を数年間隔で行い、その影響について研究する。

落葉広葉樹天然林の林分構造と動態に関する試験地(II)

0.78ha (20林班い小班).

1993年7月設定,永久固定試験地。

設定者:岡野哲郎(九大演習林),担当者:岡野哲郎(九大演習林).

目的・概要:北海道東部丘陵帯に分布するイタヤカエデ,ミズナラ,ハルニレ,ヤチダモなどの優占する落葉広葉樹天然林について,種組成および林分構造の変化パターンと地形との関係を明らかにするとともに,これら動態についての長期間にわたる調査を行うことを目的とする。主尾根から谷にかけて幅20m,長さ390mのベルト状プロットで,1992年に19林班に設定した固定試験地が北東向斜面であるのに対し,本試験地は南西向斜面となっている。

立木密度と木材材質との関係に関する研究

0.54ha (24林班皆い小班 (0.27ha), 24林班皆ろ小班 (0.27ha)).

1993年10月設定, 2003年終了予定.

設定者:古賀信也(九大演習林),担当者:古賀信也(九大演習林).

目的・概要: 立木密度の違いが木材材質へおよぼす影響,特に若齢期における影響についての基礎資料を得ることを目的とする。8年生カラマツ林分内に,立木密度が異なる3つの試験区(1000本/ha,500本/ha,300本/ha)を24林班皆い,皆ろの各小班に設定した。なお,皆ろでの設定は1992年10月に行っている。

(2) 宮崎演習林

ケヤキ植栽密度試験地

3.55ha (6 林班へ₁, へ₂小班). 1993年設定, 2043年終了予定. 設定者: 荒上和利 (九大演習林)·伊藤 哲 (宮崎大学), 担当者: 荒上和利·寺岡行雄 (九大演習林).

目的・概要:広葉樹林育成をはかる一環として、ケヤキの人工植栽を行った。その際、適切な管理方法を調べる目的で、0.9m、1.8m, 3.6mのそれぞれの間隔で植栽し、異なる密度でどのような成長を示すのか継続測定する。

落葉広葉樹林型誘導試験地

0.12ha (17林班い小班).

1993年設定, 2003年終了予定.

設定者: 荒上和利 (九大演習林)·伊藤 哲 (宮崎大学), 担当者: 荒上和利·寺岡行雄 (九大演習林).

目的・概要:天然生二次林の伐採後,異なる伐採処理によってどのような更新プロセスをとるのか調査する。

コウヤマキ人工植栽試験地

0.16ha (29林班を小班)。

1993年設定, 2043年終了予定.

設定者:荒上和利(九大演習林),担当者:荒上和利・寺岡行雄(九大演習林).

目的・概要:全国的にも希少な資源となっているコウヤマキの人工造林による育成をはかることを目的とする。

2. 研究教育用資材の提供

平成5年度

	T		
目的	場所	資材名	提供先 (代表者名)
心材の生材含水率と色に関する研究 スギ壮齢木の材質と利用特性	福岡演習林福岡演習林	ス ギ 材ス ギ 材	木材理学 小田 一幸 木材工学 又木 義博
スギ実大丸太の高周波加熱減圧乾燥 に関する研究	福岡演習林	スギ材	木材工学 又木 義博
さし木苗作成	福岡演習林	ヒノキ材	林学第 3 玉泉幸一郎
立地・環境の違いによる黒心材の発生 状況の解明	福岡演習林	スギ材	木材理学 小田 一幸
枝打ちの生長に関する研究	福岡演習林	ス ギ 材	林学第3 玉泉幸一郎
スギ実大丸太の高周波滅圧乾燥に関する 研究および葉枯し乾燥に関する研究	福岡演習林	スギ材	木材工学 又木 義博
スギ実大丸太の高周波加熱減圧乾燥 に関する研究	福岡演習林	ス ギ 材	木材工学 又木 義博
マツノザイセンチュウによるマツ枯 損機構の解明に関する研究	早良寒習場	クロマツ	林学第3 玉泉幸一郎
スギ心材の黒変現象に関する研究	福岡演習林	スギ材	木材理学 小田 一幸
木材防腐に関する研究	宮崎演習林	ブ ナ 材	木材化学工学 田中 浩雄
樹幹解析	宮崎演習林	ツガ・モミ・ミズナラ材	林学第1 関屋 雄偉
技術職員研修会における間伐試験	宮崎演習林	ス ギ 材	演習林 柿原 道喜
測樹学実習における樹幹解析	宮崎演習林	ス ギ 材	林学第1 今田 盛生
木材の気体透過性に関する研究	北海道演習林	カラマツ	木材理学 堤 壽一
木材の力学的性質に関する研究	北海道演習林	ヨーロッパトウヒ チョウセンゴヨウ ストローブマツ	木材理学 小田 一幸

3. 演習林利用による研究成果

(順不同)

							(順个	.lh1)
利用演習林名	執筆者名	論 文 名	誌名	巻・号	頁	所属講座名	備	考
北海道演習林	小田 一幸 堤 壽一	針葉樹材の縦圧縮強さ におよぼす含水率の影 響と年輪構造との関係	日本木材学会 大 会 要 旨 集	43回	口頭発表 462	木材理学		
	小田 一幸 堤 壽一 松村 順司	樹種が異なる針葉樹林 材の力学的性質への含 水率の影響(第2報) 一縦圧縮強さへの影響 と年輪構造との関係-	木材学会誌	40 • 2	113~118	木材理学		
	柿原 道喜	カラマツ人工林の林分 密度と直径成長量の関 係に関する研究	日本林学会 大会	104回	口頭発表	演習林		
	長 正道馬渕 哲也	林分側断面積と林分構 造の関係 - 九州大学 北海道演習林における カラマツ人工林のケー ス-	日林 論	104	239~240	演習林		
	長 正道 新妻 二郎	九州大学北海道演習林 におけるトドマツ人工 林の林分構造および成 長解析	日 林 論	104	241~242	演習林		
	岡野 哲郎	九州大学北海道演習林 の森林植生 - 落葉広 葉樹林の分類と立地環 境について-	九 大 演 報	70	1~12	演習林		
	岡野 哲郎	落葉広葉樹天然林にお ける樹種の出現パター ン	北方林業	45 • 9	231~234	演習林		
	岡野 哲郎	北海道東部落葉広葉樹 林の生態学的研究(III)	日本林学会 大会	104回	口頭発表	演習林		
	Tetsuo Okano	Composition and Distributional Pattern of Tree Species of Deciduous Broad Leaved Forest in Eastern Hokkaido, Northern Japan.	International Botanical Congress	15回	口頭発表	演習林		
	古賀 信也 馬渕 哲也	九州大学北海道演習林 におけるカラマツ造林 木の未成熟材率	日林北支論	42	241~244	演習林		
	古賀 信也 小田 一幸 堤 壽一	立木密度を調整したカ ラマツの成長と木材性 質について	日林木材学会 大 会 要 旨 集	43	口頭発表 454	演習林		
宮崎演習林	太田 和樹 今田 盛生 増谷 利博	九大宮崎地方演習林に おける天然林施業 ーアカマツ天然林の林 分構造の解析-	日本林学会 大会	104回	口頭発表	林学第一		
	寺岡 行雄	森林計画における森林 動態および地表変動の 評価	日本林学会 大会	104回	口頭発表	林学第一		
	太田 和樹 増谷 利博	九州奥地山岳林におけるアカマツ天然林施業 一林内の下層木について-	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第一		
	広瀬健一郎 丸谷 知己 井倉 洋二 竹下 敬司	山地河川におけるヤマメの産卵床の形成場所について	日林九支研論	46	193~194	林学第二		

利用演習林名	執筆者名	論 文 名	誌 名	巻・号	頁	所属講座名	備考
宮崎演習林	境 裕子 山口 和也 伊藤 哲 丸谷 知己	生物群集の多様性と河 川空間の地形的構造に 関する研究(I) - 屈 曲度と川幅の位置的変 化-	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第二	
	Yoshinori Kashino Kokki Fujita Ryuichiro Kondo Kokki Sakai	Biomechanical pulping using white-rot fungus IZU-154.	Tappi Journal	76 · 12	167~171	木材化学	
	Chikako Takayama Shoji Ohga Kokki Sakai	Sawdust-Based Cultivation and Changes of Culture Mature Degree of the Edible Mushroom, <i>Pleurotus abalonus</i> .	J. Fac. Agr., Kyushu Univ.	38•1/2	19~33	木材化学	福岡演習林 も利用
	本村 大志 割石 博治 大田中 浩雄	種々のイオンによる木 材防腐効果について	日本木材学会 九州支部大会	1 🗆	口頭発表	木材化学	
	井倉 洋二	貯留関数型モデルによる土壌および基岩から の流出成分の分離	九大演報	70	13~42	演習林	
	井倉 洋二	九州山地中央部におけ る降下物および樹幹流 の観測効果と問題点	森林地域にお ける地球環境 モニタリング 研 究 報 告 集	1回	75~80	演習林	·
	井倉 洋二	雨水流出過程における 基岩層および土壌層か らの流出成分を分離す るモデルについて	日本林学会 大会	104回	口頭発表	演習林	
	井倉 洋二 吉村 和久	九州山地中央部におけ る降水および樹幹流の pHと溶存成分の特徴	日林九支大会	49回	口頭発表	演習林	
	伊藤 哲 寺岡 行雄 荒上 和利	現地調査と航空写真判 読による森林動態指標 の比較	日 林 論	104	269~270	演習林	
	伊藤 哲 寺岡 行雄 荒上 和利	広域森林を対象とする 森林動態研究手法のス ケール関連結	日本林学会 大会	104回	口頭発表	演習林	
	伊藤 哲荒上 和利	モミ・ツガ・広葉樹混 交林の林分構造と多様 性 一地形と構造の対 応およびその空間ス ケール変化-	日本林学会大会	104回	口頭発表	演習林	
	伊藤 哲荒上 和利	モミ・ツガ林の樹冠成 長によるギャップの修 復過程 -単木の成長 モデルによるシミュ レーション-	日林九支大会	49回	口頭発表	演習林	
	伊藤 哲 玉泉幸一郎	光、養分および水分環 境の変化がタブの木の 成長におよぼす影響	日林九支大会	49回	口頭発表	演習林	人吉連絡所
·	伊藤 哲 境 裕子 丸谷 知己	生物群集の多様性と河 川空間の地形的構造に 関する研究(II) ー山 地渓畔での土石流堆積 によるバッチの形成ー	日林九支大会	49回	口頭発表	演習林	

利用演習林名	執筆者名	論 文 名	誌 名	巻・号	頁	所属講座名	備考
宮崎演習林	伊藤 哲	九州の冷温帯林構成種 の萌芽特性と森林動態 における役割	日本生態学会 大会	40回	口頭発表	演習林	
福岡演習林	溝上 展也 増谷 利博	 林冠縦断面形のフラク タル次元について	日本林学会 大会	104回	口頭発表	林学第一	
	寺岡 行雄 岡村 篤憲 増谷 利博 今田 盛生	森林経営のためのモニタリング手法の確立(I) -経営情報としてのモニタリングのあり方-	日林九支大会	49П	口頭発表	林学第一	
	岡村 第憲 寺岡 行 村 村 今 田 盛 生 生 会 日 成 生 会 日 成 生 会 日 、 成 生 会 日 、 成 生 と 日 と 日 と と と と り と の と と と と と と と と と と と と と	森林経営のためのモニ タリング手法の確立 (II) -木材生産と 水源かん養機能のモニ タリングー	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第一	
	Nobuya Mizoue Toshihiro Masutani	Application of fractal dimension to quantifying form of tree crowns.	Proceedings of the IUFRO Seoul Conference	:	133~138	林学第一	早良実習場 も利用
	Yukio Teraoka Toshihiro Masutani	Stand information capture system for forest management and monitaring.	Proceedings of the IUFRO Seoul Conference	:	270~277	林学第一	早良実習場 も利用
	伊東啓太郎 伊藤 哲 玉泉幸一郎	アオキ(Aucuba japonica) の種子散布様式と発芽 特性	日本生態学会 大会	40回	口頭発表	林学第三	
	伊東啓太郎 齋藤 明	広葉樹林下におけるア オキの種子散布および 実生の消長過程	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第三	
	原崎 明子 玉泉幸一郎 矢幡 久	埋土種子の発芽におよ ぼす庇陰処理の影響	日本林学会 大会	104回	口頭発表	林学第三	
	伊東啓太郎 伊藤 哲 玉泉幸一郎	アオキの種子散布様式 と発芽特性	日林九支研論	46	109~110	林学第三	
	杉山裕一郎 矢幡 久 玉泉幸一郎	スギ品種の樹形におよ ぼす光環境の影響	日本林学会 大会	104回	口頭発表	林学第三	
	Itou Keitaro Ito Satoshi Oshima Yuko Sakai Akiko Sato Hazime Sakai Takeshi Akamatsu Naoko	Vegetation pattern and its dynamics in riparian forests in Japan: with special reference to disturbance due to mass movement.	XV International Botanical Congress		口頭発表	林学第三	
	松村 順司 小田 清本 高田 清次 堤 壽一	台風被害を受けたスギ、 ヒノキ材の破壊形態と 力学的性質	九大農学芸誌	48•1/2	27~33	木材理学	
	松村 順司 小田 一幸 森川 岳 堤 壽一	スギ心材の明度および 生材含水率の樹幹内推 移	日林九支大会	49回	口頭発表	木材理学	
	松村 順司 堤 壽一 小田 一幸	自然乾燥と凍結乾燥された材の気体透過性の 相違について	日本木材学会大会要旨集	43回	口頭発表 558	木材理学	北海道演習 林も利用

利用演習林名	執筆者名	論 文 名	誌 名	巻・号	頁	所属講座名	備考
福岡演習林	堤 壽一 小田 一幸	樹種が異なる針葉樹材 の力学的性質への含水 率の影響 一気乾材と 吸水材の圧縮に対する 性質の比一		42•475	431~435	木材理学	
	小田 一幸 松村 順司 堤 壽一 阿部 善作	スギ樹幹における黒心 材形成と灰分	九大農学芸誌	48•3/4	171~176	木材理学	
	雉子谷佳男 小田 一幸 堤 壽一	広葉樹樹幹における 芽基部の木部形成 -環孔材樹種の場合-	大会要旨集	43回	口頭発表 508	木材理学	
	雉子谷佳男 小田 一幸 堤 壽一	広葉樹枝の年輪構造に およぼすIAA移動阻 害物質の影響		49回	口頭発表	木材理学	
	雉子谷佳男 小田 一幸 堤 壽一	広葉樹環孔材樹種にま ける萌芽基部の木部形 成		70	63•74	木材理学	
	雉子谷佳男 小田 一幸 堤 壽一	広葉樹形成層活動の季 節経過(IV) -コナラ の木部形成開始に及ほ す萌芽の影響-		46	225•226	木材理学	
	坂井 克己 近藤隆一郎	パルプ化プロセスへの リグニン分解菌の応用		47 • 8	933~943	木材化学	北海道、宮 崎演習林も 利用
	藤本 登留 有田 秀三 又木 義博	心持ち角材の乾燥 -変動する環境条件下 におけるスギ心持ち乾 燥柱材の材面応力発生 挙動 -		43回	口頭発表 215	木材工学	
	河辺 純一 田中 洋 藤本 登留 又木 義博	スギ丸太の高周波加索 減圧乾燥 一適正温度 条件の検討一		43回	口頭発表 209	木材工学	
	大倉 淳一 祖父江信雄 平井 信之	複合応力下におけるオ 材の破壊靱性	日本木材学会 大会要旨集	43回	口頭発表 324	木材工学	
	久藤藤河之木 高本元辺木 京三本元辺木 京三、 京三、 京三、 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	台風被害木の損傷発生 とその材質および利用 適性		43回	口頭発表 456	木材工学	
	藤本 登留 久富 浩人 又木 義博	台風被害木の被害形息 別モメ発生分布	九大演報	70	75~88	木材工学	
	Haruhiko Yamaguchi Yutaka Maeda Isao Sakata	Bonding among Woody by Use of Enzymatic Pheno Dehydrogenative Polymer ization -Mechanisn of generation of bonding strength-	l Gakkaisi	40 • 2	185~190	高分子材料学	
	犬走 剛 宮島 郁夫 大久保 敬 松尾 英輔	形態およびアイソザイム分析によるサザンスとオキナワサザンカク類縁関係に関する研究		62•別刷2	口頭発表	園芸学	
	汰木 達郎	葉温について(III) - 土壌水分環境と葉温-		46	203~204	演習林	

利用演習林名	執筆者名	論 文 名	誌 名	巻・号	頁	所属講座名	備	考
福岡演習林	岡野 哲郎 伊藤 哲	九大粕屋演習林19号台 風被害の報告 - 六演 習林スギ品種試験地第 I 試験地での被害 -	日林九支研論	46	275~276	演習林		
	Ohoga shozi Yano Shintaro Kira Kesayoshi	Availabity of Enokitake Mushroom, Flammulina velutipes Cultural Waste for Use as a Substrate in the Sawdust-Based Cultivation of Shiitake, Lentinus edodes	Mokuzai Gakkaishi	39 • 12	1443~1448	演習林		
早良実習場	寺本 佳代 増谷 利博 溝上 展也	海岸クロマツの樹冠形 の情報量次元と健全度 との関係	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第一		
	溝上展也増谷利博寺本佳代	樹冠縦断面形の情報量 次元による評価手法に ついて	日林九支大会	49回	口頭発表	林学第一		
:	井上 晋 小田 隆司	都市海岸林に発生する 森林管理上の障害と林 分構造	日林九支大会	49回	口頭発表	演習林		
	井上 中島 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	都市海岸クロマツ林の 植生学的研究(V) ーギャップに散布され た埋土種子群の実態ー	日本林学会 大会	104回	口頭発表	演習林		

4. 学生実習

(平成5年度)

実 習 名	期間	日数	講座名	担当教	文官	場所	学 生
森林生態生理学実習	5 .24~ 5 .28	5日	林学第3	矢幡 久	外2名	宮崎地方演習林	林学科 3年生 14名 林学科 4年生 2名 院 生 5名
林産学科林学実習	7.12~7.16	5日	演習林	荒上和利	外1名	宮崎地方演習林	林産学科 3年生 30名
林学特別実習第一	7 .14~ 7 .20	5日	演習林	長 正道 /	外1名	北海道地方演習林	林学科 3年生 10名 林学科 4年生 1名 農業工学科 3年生 1名
森林測量学実習	8.30~8.31	2日	林学第2	中尾博美	外1名	粕屋地方演習林	林学科 3年生 14名
森 林 工 学 実 習 (砂 防 工 学)	10.14	1日	林学第2	丸谷知己		福岡演習林	林学科 3年生 15名 院 生 2名
森林経理学実習	10.18~10.22	5日	林学第1	関屋雄偉	外1名	早良実習場	林学科 3年生 14名
造 林 学 実 習	2.28~3.4	5日	林学第3	齋藤 明	外2名	福岡演習林	林学科 2年生 15名
森 林 工 学 実 習 (林 業 工 学)	3.7 ~ 3.11	5日	林学第2	中尾博美	外1名	福岡演習林	林学科 3年生 15名
測 樹 学 実 習	3 .7 ~ 3 .11	5日	林学第1	今田盛生	外1名	宮崎演習林	林学科 2年生 15名 4年生 3名 院 生 5名

5. 利用者数調

平成5年度

	九	」州 大	学	他大学			
演習林名	林 学 科林産学科	演習林	他学科	お よ び 研究機関	林業関係	一般	計
福岡演習林	429	50	389	24	18	776	1686
早良実習場	106	2	0	26	0	525	659
宮崎演習林	507	90	0	72	13	251	933
北海道演習林	124	15	4	62	40	335	580
計	1166	157	393	184	71	1887	3858

※延人数で記載

F. 演習林気象年報

平成5年

北海道演習林

月		気	温		日気温の		地		温		降水量		苏 双 旦	天		気 (9時)		
л	日最高 月平均		日最低 月平均		月平均 (9時)	0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	蒸発量	快晴	晴	曇	雨	雪
	°C	Ĵ	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	$^{\circ}$	mm	mm	mm					
1	-0.7	5.7	~12.2	-20.9	-9.3	-0.2		1.0			37.0	12.5		10	9	6	1	5
2	0.2	4.7	-12.9	-21.5	-8.6	-0.1		0.7			3.5	1.5		7	7	11	0	3
3	4.5	11.4	-8.0	-14.0	-1.8	0.1		0.6			12.5	5.5		12	12	4	1	2
. 4	9.8	18.3	-2.2	-6.1	5.2	1.9		2.0			80.0	20.5		7	3	18	2	0
5	16.0	24.8	3.5	-4.2	11.1	9.1		8.8			70.0	18.5		7	7	13	4	0
6	17.2	22.8	9.4	4.0	13.1	13.6		13.2			116.5	42.0		1	6	17	6	0
7	21.3	27.9	11.7	5.6	16.8	16.1		16.9			43.0	36.5		8	4	16	3	0
8	23.6	29.2	14.1	8.5	18.1	17.4		18.1			133.0	45.0		6	9	13	3	0
9	18.9	25.7	9.6	2.4	14.2	13.5		16.2			123.0	27.5		6	9	10	5	0
10	18.4	26.3	3.1	-5.1	10.0	10.3		14.4			79.5	44.5		10	7.	11	3	0
11	9.1	21.6	-3.2	-11.0	2.2	4.2		7.7			55.5	39.5		9	10	10	1	0
12	1.1	5.9	-11.2	-24.3	-6.9	0.7		3.4			69.0	15.5		12	7	4	1	7
総計	139.4	/	1.7	/	64.1	86.6		103.0			822.5	/		95	90	133	30	17
年平均	11.6	/	0.1	/	5.3	7.2		8.6			/	/	/	/	/	/	/	/_

平成5年

宮崎演習林

		兌	温		日気温の		地		温		降 2	、 量	JIV VO FI		天	気	(9時)	
月	日最高 月平均		日最低 月平均		月平均 (9時)	0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	蒸発量	快晴	晴	曇	雨	雪
	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	mm	mm	mm					
1	9.6	16.2	-0.9	-8.2	3.8			6.9			102.5	50.0	19.2	7	4	7	2	1
2	10.7	17.6	-1.6	-7.0	4.5			6.3			115.5	36.0	24.3	10	2	6	1	1
3	12.6	17.9	0.5	-5.4	5.9			8.4			241.0	126.0	40.4	9	4	5	4	0
4	18.0	25.6	3.7	-4.4	11.1			12.5			84.0	53.0	56.4	12	3	2	2	0
5	21.2	27.0	10.0	4.7	15.6			17.0			171.0	48.5	_	6	1	10	7	0
6	23.6	27.8	15.6	8.5	19.4			19.7			1259.5	209.0	_	1	11	1	16	0
7	24.7	30.1	18.7	15.1	21.4			22.4			1598.0	304.5		1	4	13	13	0
8	26.4	30.1	18.6	13.0	22.2			23.5			1008.5	237.0	_	8	5	5	11	0
9	23.7	27.5	16.5	12.4	19.8			22.6			718.5	382.5	_	0	7	6	8	0
10	19.9	25.8	7.7	-0.6	13.4			17.4			132.0	54.0	-	13	0	5	4	0
11	17.2	23.8	6.3	-4.4	11.2			14.5			129.0	30.5	_	9	3	6	5	0
12	11.2	17.5	-0.5	-5.0	4.5			8.7			109.5	38.0	_	6	8	7	5	0
総計	218.8	/	94.6	/	152.8			179.9			5669.0	/		82	52	73	78	2
年平均	18.2	/	7.9	/	12.7			15.0			/	/	/	/	/	/	/	

平成5年

福岡演習林

月		気 温			日気温の	155			温 降水		k 量	サルロ	天		気 (9時)			
	日最高 月平均	日最高 極 値		日最低極 値	月平均 (9時)	0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	蒸発量	快晴	晴	曇	雨	雪
	ů	ů	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	$^{\circ}\mathbb{C}$	mm	mm	mm					
1	9.4	14.3	2.9	-2.2	5.8	7.6		8.5			46	10	0.9	1	4	8	4	1
2	11.1	21.9	1.9	-2.7	6.9	7.9		8.3			48	14	0.1	0	9	7	2	1
3														2	10	8	3	0
4														0	14	6	0	0
5	23.2	28.8	13.0	7.5	18.8	9.9		9.9			83	35	0.12	0	6	10	2	0
6	26.4	29.7	18.7	13.0	22.6	17.6		17.1			342	67	0.1	0	5	8	8	0
7	27.7	32.7	21.5	18.3	24.4	23.1		22.5			278	62	0.1	0	8	9	4	0
8	28.9	32.6	21.6	16.3	25.1	16.4		16.4			377	77	0.1	0	8	10	4	0
9	25.7	30.9	17.4	12.0	22.2	23.7		23.8			183	72	0.1	0	10	6	4	0
10	21.4	24.9	12.0	4.8	17.7	18.6		19.2			64	48	0	0	17	0	3	0
11	18.0	23.7	9.9	0.4	14.0	8.0		8.6			60	12		0	11	8	1	0
12	11.7	16.9	3.1	-0.6	7.8	8.9		10.0			48	14	0	0	13	4	2	0
総計	203.5	/	120.0	/	165.3	141.7		144.3			1529	/	1.52	3	115	84	37	2
年平均	20.3	/	12.0	/	16.5	14.2		14.4			/	/	/	/_	/	/	/	/

※3,4月機械故障のため欠測

平成5年

早良実習場

E.1		気	温		日気温の		地		温	温		k 量	* 74 日		天	気	(9時)	
月	日最高 月平均	日最高 極 値	日最低 月平均	日最低 極 値	月平均 (9時)	0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	蒸発量	快晴	晴	嘦	雨	雪
	°C	°C	°C	°C	$^{\circ}$	$^{\circ}$	°C	°C	°C	°C	mm	mm	mm					
1	10.3	14.8	2.8	-2.8	5.4						2.5	1.0		0	8	18	5	0
2	12.6	23.5	1.5	-3.4	6.9						6.0	2.5		0	14	11	3	0
3	14.3	25.0	3.3	-2.2	8.9						12.6	3.0		0	19	9	3	0
4	19.5	29.8	7.1	-1.3	15.0						38.5	15.0		0	20	8	2	0
5	23.0	30.8	12.4	7.0	17.9						25.5	10.0		0	14	11	6	0
6	26.7	31.5	18.6	12.7	23.0						165.0	56.0		2	12	9	7	0
7	27.4	35.0	21.4	18.6	24.4						326.5	69.0		0	11	13	7	0
8	28.4	32.8	20.5	16.4	24.8						416.0	86.0		1	11	13	6	0
9	26.1	33.0	17.4	11.0	21.9						243.5	72.0		0	14	12	4	0
10	22.4	28.8	11.3	4.5	16.8						70.5	53.0		0	21	8	2	0
11	17.8	24.2	8.5	0.0	13.0						130.0	40.5		0	9	18	3	0
12	13.1	18.9	2.7	-1.5	6.7						61.0	19.0		1	16	13	1	0
総計	241.6	/	127.5	/	184.7						1497.6	/		4	169	143	49	0
年平均	20.1	/	10.6	/	15.3						/	/	/	/	/		/	

G. 図書受入数

	図書(6.	3.31現在)	5 年度則	購入図書	5 年度則		5 年度署	寄贈雑誌	5 年月	度製本
	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書
	₩	₩	₩	₩	種	種	種	種	₩	##
本 部	6831	1251	1	0	164	27	93	6	0	0
粕 屋	975	79	4	8	23	2	11	0	0	0
宮崎	849	23	0	0	4	1	0	0	0	0
北海道	1102	106	0	0	14	0	26	0	0	0
計	9757	1459	5	8	205	30	136	6	0	0

(粕屋演習林は、平成5年10月31日までの受入数を記入)

		H. 刊 行 物		
年	報 1	992	(平成 5	年8月20日発行)
演習林概	要 1	993	(平成 5	年11月発行)
九州大学農学	, ,,			年12月24日発行)
	論 文	2 名	著者名	
	スギ品種の一次枝、	一次根の分岐特性	·城 田 徹田 代 直玉 泉 幸-齋 藤	• •
	風倒木被害発生と立	エ地及び林分構造との関係解析 ·············	:·福 永 寛 利 盛 英 加 賀	博 生
	九州四万十帯日向大	河内地域の地質	…田 中 健 岩 松	一…31 暉
	中小林家の活性化と	森林組合活動	…堺 正	紘…55
九州大学農学部	部演習林報告 第7	70号	(平成 6	年 3 月30日発行)
	論文	名	著者名	
	九州大学北海道演習 落葉広葉樹林の分	7林の森林植生 *類と立地環境について	岡野哲	郎… 1
	貯留関数型モデルに 基岩からの流出成分	こよる土壌および ♪の分離	#	二…13
		・クタル次元算出法		也···53 博
	広葉樹環孔材樹種に	おける萌芽基部の木部形成	・・維子谷 佳小 田 ー堤	男…63 幸 一
	台風被害木の被害形	/態別モメ発生分布	•	留…75 人 博
	九州大学農学部演習	3 林報告第1~70号総目次		